

MITSUBISHI

遠隔制御用インターフェイス
形名：MAC-374IF

取付説明書

販売店・工事店さま用

インターフェイスについて

- インターフェイスには取付けできないルームエアコンがあります。
取付けの前に、接続可能なルームエアコンであるか、「三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン用営業技術ポケットマニュアル」でご確認ください。
- 本説明書で不明な点は、「三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン用営業技術ポケットマニュアル」でご確認ください。
- 「三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン用営業技術ポケットマニュアル」は、「三菱電機システムサービス」でご用意しております。

安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上取付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取付工事終了後、本説明書をお客さまにお渡ししてください。お客さまに、ルームエアコンの「取扱説明書」「保証書」とともに大切に保管していただくよう依頼してください。

⚠警告（誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。）

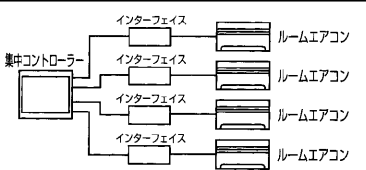
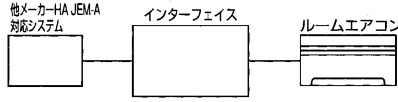
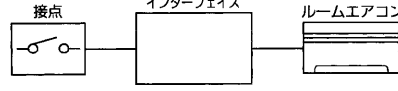
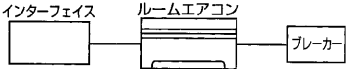
- お客さま自身で取付けはしない。
不備があると、火災・感電・インターフェイス本体の落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 取付けは、取付工事説明書にしたがって確実に行う。
取付けに不備があると、火災・感電・インターフェイス本体の落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 取付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度の不十分な所に取付けると、インターフェイス本体が落下し、ケガの原因になります。
- インターフェイス本体の電気品カバーを確実に取付ける。
インターフェイス本体の電気品カバーの取付けに不備があると、ほこり・水などにより、火災・感電の原因になります。
- 取付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
部品に不備があると、火災・感電・インターフェイス本体の落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」を遵守し、取付説明書にしたがって施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると、火災・感電の原因になります。

⚠注意（誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。）

- 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除く。
人体などからの静電気は、インターフェイスを破損させるおそれがあります。
- 浴室など大量の湯気が発生する所には据付けない。
水のかかる場所、壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になります。
- 特殊環境には使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

1 取付けの前に

1 インターフェイスの用いかた

機能	関連別売部品	システム例
<ul style="list-style-type: none"> ・集中コントロール 複数台のエアコンを1カ所から運転/停止の操作ができます。 	集中コントローラー MAC-820SC (4室用) MAC-821SC (8室用) MAC-822SC (6室用)	集中コントローラーにルームエアコン4台を接続した場合 
<ul style="list-style-type: none"> ・JEM-A対応 他メーカーのHA JEM-A対応のシステムコントロールへの接続ができます。 (例:テレコントロール、ホームオートメーションシステム等) 	なし	他メーカー HA JEM-A対応システムに接続する場合 
<ul style="list-style-type: none"> ・遠方コントロール 接点のON/OFFによりエアコンの運転/停止が遠方よりできます。 	なし	ルームエアコンを接点により運転する場合 
<ul style="list-style-type: none"> ・元電源発停 ブレーカーの入/切によりエアコンの運転/停止ができます。 	なし	元電源発停を行う場合 

1 取付けの前に

2 適用機種

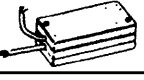




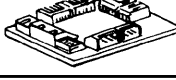







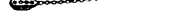




インターフェイスには接続可能な機種と接続不可の機種がありますので取付けの前に取付けになるエアコンが取付可能か下記適用機種一覧表でご確認ください。
適用機種一覧表にのっていない機種につきましては『三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン用営業技術ポケットマニュアル』でご確認ください。

〈適用機種一覧表〉

グループ	適用機種名	接続要領
A		3-1.項
B	MSZ-VX28KD, VX28JD, VX28HD	3-2.項
C-1		3-3.項
C-2		
D		3-4.項
E		3-5.項
F	MSZ-VX22K, VX25K, VX28K, VX28KS, VX32K, VX32KS, VX40KS, VX40KD VX50KS, VX50KD VS22K, VS25K, VS28K, VS28KS, VS40KS, VS50KS KS20K KS20J GXV22J, GXV25J, GXV28J, GXV28JS VX22J, VX25J, VX28J, VX28JS, VX32J, VX32JS, VX40JS, VX40JD VX50JS, VX50JD VS22J, VS25J, VS28J, VS28JS, VS40JS, VS50JS VX22H, VX25H, VX28H, VX28HS, VX32H, VX32HS, VX40HS, VX40HD VX50HS, VX50HD VS22H, VS25H, VS28H, VS28HS KS20H VX40AS, VX50AS 22GXS, 25GXS, 28GXS, 32GXS, 40GXS, 50GXS MX208X, MX208XP, MX228XS, MX228XSP, MX258XS, MX258XSP, MX288XSP VX208X, VX228XS, VX258XS, VX288XS, VX328XS, VX408XS MLZ-RX28JS (-IN), RX32JS (-IN), RX40JS (-IN), RX50JS (-IN), RX36RS (-IN) GX28JS (-IN), GX32JS (-IN), GX40JS (-IN), GX50JS (-IN), GX36RS (-IN) 22KXS, 25KXS, 28KXS, 32KXS, 40KXS W40GS (-IN), W50GS (-IN), W56GS W40PS (-IN), W50PS (-IN), W56PS (-IN) 22FXS, 25FXS, 28FXS, 32FXS, 40FXS 22GS (-IN), 25GS (-IN), 22PS (-IN), 25PS (-IN) 2817S (-IN), 3217S (-IN), 4017S (-IN), 5017S (-IN) MTZ-22GXS, 25GXS, 28GXS, 32GXS, 40GXS 22KXS, 25KXS, 28KXS, 32KXS, 40KXS 22GS (-IN), 25GS (-IN), 28GS (-IN), 32GS (-IN), 40GS (-IN), 36RS (-IN) MBZ-28PS (-IN), 32PS (-IN), 40PS (-IN), 50PS (-IN) MSH-2237L, 2837LS MSY-288, 328, 408S MS-208, 258, 258S	3-6.項

3 付属部品

下記の付属部品が同梱されていますのでご確認ください。

構成部品	数量	構成部品	数量	構成部品	数量	構成部品	数量
① インターフェイス本体 	1	⑥ ④⑤の固定用ネジ 4×10 	1	⑪ 中間接続基板 	1	⑬ ⑮の固定用ネジ 3.5×12 	5
② コードクランプ (小) 	2	⑦ 壁面固定用金具 	1	⑫ 中間接続基板 	1	⑭ ⑤の固定用ネジ 4×16 (室内ユニットの部品と 共締めする場合に使用) 	1
③ ②の固定用ネジ 3.5×12 	2	⑧ ⑦の固定用ネジ 3.5×12 	4	⑬ ⑪⑫の収納袋 	1	⑯ インターフェイスケース 固定用ネジ 3.5×12 	2
④ コードクランプ (中) 	2	⑨ クッション材 (大) (粘着剤付) 	1	⑭ ファスナー (リード線まとめ用) 	5	⑰ リード線 	1
⑤ コードクランプ (大) 	2	⑩ クッション材 (小) (粘着剤付) 	1	⑮ コードクランプ 	5	⑱ リード線 	1

4 現地で準備していただく部品

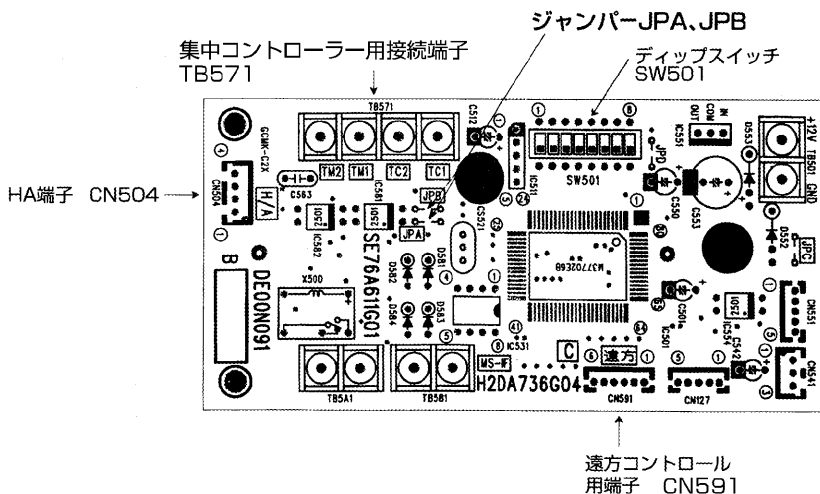
下記の部品につきましては別途現地でご用意くださるようお願いいたします。

必要部品			
④ 電源電線 (機種グループC-1、C-2、D、Eのみ) φ0.5mm~φ1.0mm 施工上の必要長さで用意ください。(電源用)	⑧ 直流12V電源 (機種グループC-1、C-2、D、Eのみ)	⑩ 関連別売部品 (システムコントローラー) システムにより必要な別売部品を必要数をご用意ください。	⑬ 信号線延長ケーブル (遠方コントロール時のみ) リード線⑱の延長ケーブル

警告

取付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。部品に不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。

5 インターフェイス基板



※ジャンパーJPA、JPBの設定について
端子TB571 (集中コントローラー用接続端子) を使用するときJPA、JPBを切断してください。

電源用接続端子 TB501

直流12V

(グループC-1、C-2、D、Eのみ使用) <電源 (直流12V) の接続>

電源切替用ジャンパーJPC

※電源を接続する場合必ず

切断してください。

(グループC-1、C-2、D、Eのみ適用)

ルームエアコン用
接続端子 CN551

●グループC-1、C-2、D、Eの機種は直流12Vの電源が必要になります。

●「1.取付けの前に現地で準備していただく部品」に記載されている電源と電源電線を、ご用意ください。

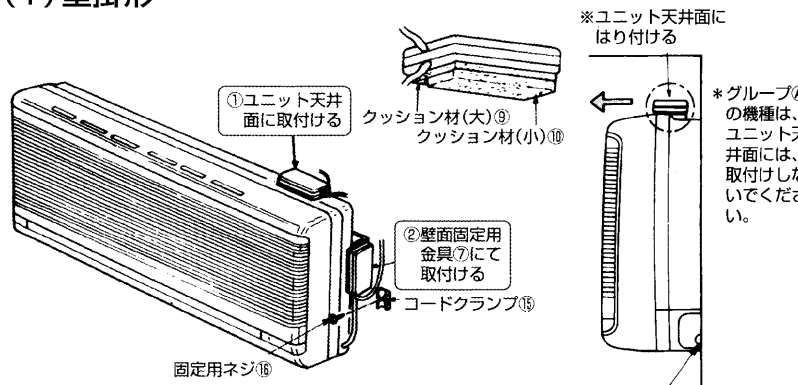
●電源用接続端子TB501には極性 (12V、GND) がありますので確認の上、接続してください。

2 インターフェイス本体の取付けかた

インターフェイス本体の設置場所はインターフェイスからのリード線が室内ユニットへ届く範囲としてください。リード線の現地での延長は正常に動作しなくなりますので絶対に行わないでください。

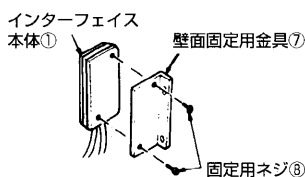
*インターフェイス本体の取付けは壁面固定用金具⑦を本体へ取付け後、柱・壁などに4本のネジを使って確実に固定してください。

(1) 壁掛形



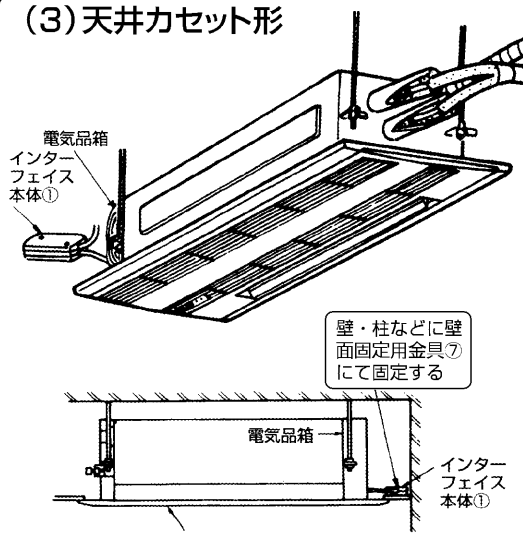
ご 注 意

- ①インターフェイス本体を取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けて柱・壁などに固定用金具を使って固定してください。
- ②取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑭によりとりまとめてください。



この部分をカットしてインターフェイス本体のコードを通してください。(ユニットによって、ユニットと壁とのすき間でインターフェイス本体よりのコードが取出せません。) 余ったリード線は、ユニット本体後部の配管スペースへ収納してください。

(3) 天井カセット形

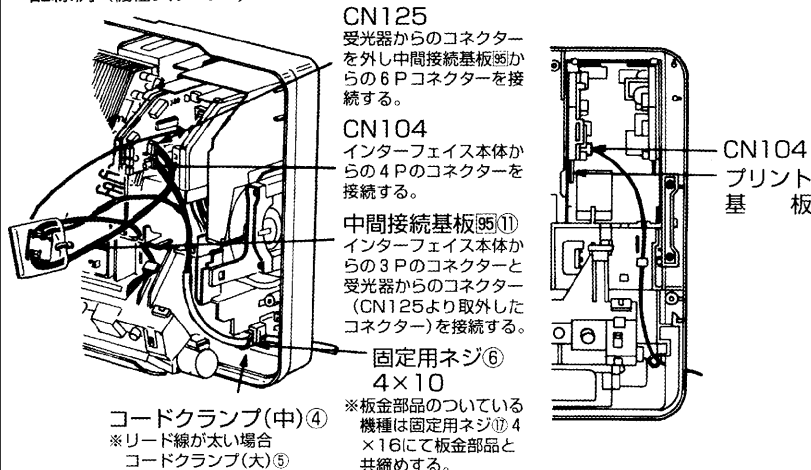


(インターフェイス本体設置場所)

ご 注 意

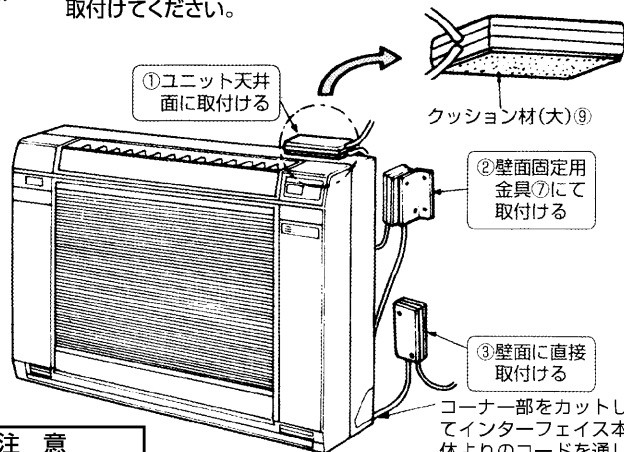
- ①インターフェイス本体を天井内へ取付ける場合には、サービスできるように開口部付近の柱・壁などに壁面固定用金具⑦を使って固定するか、点検口を設けて同様に固定してください。
- ②インターフェイス本体はできるだけユニットの電気品箱の付近に設置してください。
- ③取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑭によりとりまとめてください。

配線例 (機種グループB)



(2) 床置形

*ユニット天井面に取付ける場合は、吹出口にかからないように取付けてください。

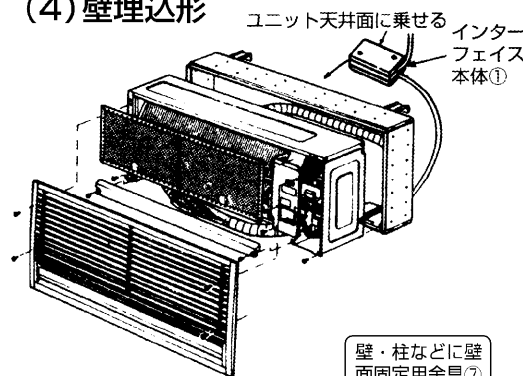


ご 注 意

取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑭によりとりまとめてください。

コーナー部をカットしてインターフェイス本体よりのコードを通してください。

(4) 壁埋込形



ご 注 意

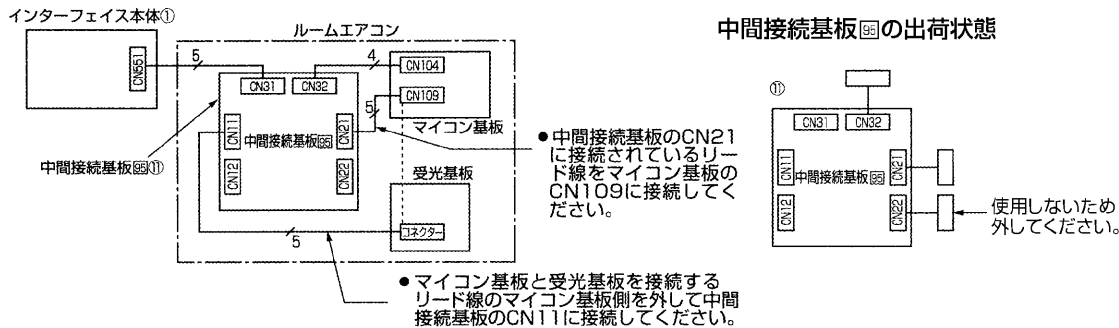
- ①インターフェイス本体を取付ける場合には、サービスできるように開口部付近の柱・壁などに壁面固定用金具⑦を使って固定するか、点検口を設けて同様に固定してください。
- ②取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑭によりとりまとめてください。

インターフェイス本体①

3-1 接続要領 (グループAの場合)

1 インターフェイスとルームエアコンの接続方法

- インターフェイス基板とルームエアコンの室内マイコン基板とを接続します。
接続する機種によって接続方法が異なりますので適用機種一覧表をご覧ください。
- インターフェイスから出ている接続線を延長または切断しますと、動作不良になります。また接続線を電源電線やアース線とまとめたりしないで、できるだけ離してください。
- 中間接続基板に接続されているリード線で、不要なリード線は外してください。
- 中間接続基板へのリード線の抜き差しを指で押さえて行ってください。



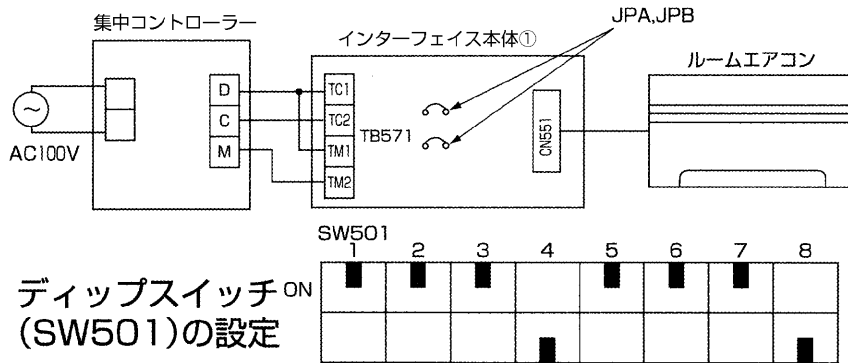
2 インターフェイスと各システムの接続方法

(各システムの詳細は各システム説明書をご覧ください。)

- 各システムとの接続線の太さに合わせ、インターフェイス本体①のコードクランプを付属部品コードクランプ②④⑤に付替えてください。
- インターフェイスのディップスイッチ (SW501) は正しく設定されないと正常な動作をしません。
- インターフェイスのディップスイッチ (SW501) の設定は電源を入れる前に行ってください。

集中コントロール (集中コントローラーへ接続する場合)

「1-⑤のインターフェイス基板」で説明されているジャンパーJPA、JPBを切断してください。

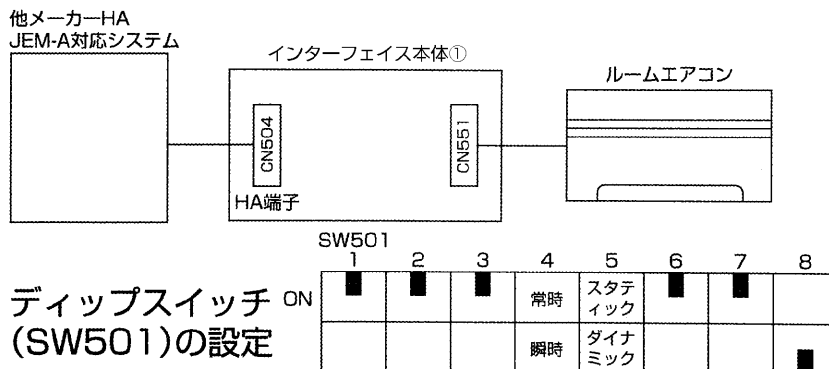


JEM-A対応 (他メーカーのHA、JEM-A対応システムと接続する場合)

ディップスイッチ (SW501) の4番の設定は接続するシステムの入力方式により異なります。

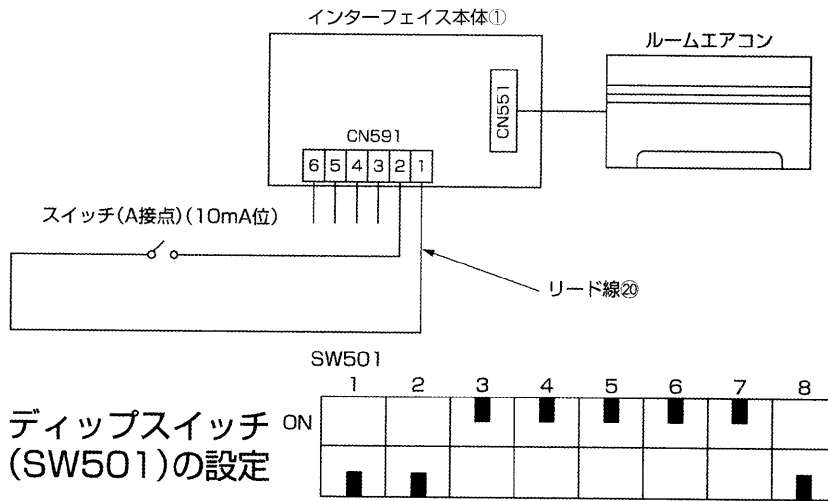
入力方式が常時接点の場合ON、瞬時接点の場合OFFに設定してください。

ディップスイッチ (SW501) の5番の設定は接続するシステムの出力方式により異なります。出力方式がスタティック方式 (—) の場合ON、ダイナミック方式 (—) の場合OFFに設定してください。



遠方コントロール（接点によるルームエアコンの運転/停止）

- 付属部品リード線⑳をCN591に接続してください。
- 電灯スイッチのような入/切の切換スイッチを用いてエアコンの運転・停止を行うことができます。スイッチを含めた遠隔操作部は現地にて調達・配線してください。



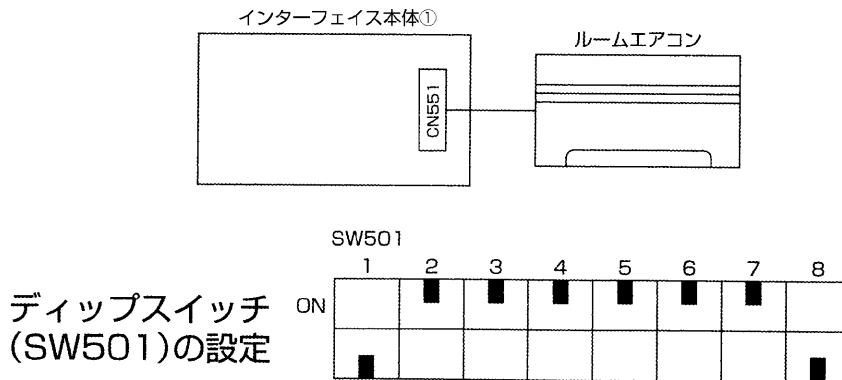
元電源発停

エアコンの元電源ONでエアコンの元電源OFF前の状態になり、元電源OFFでエアコンが停止します。

●運転モード

- ①初めてお使いになる時は、一度お手元のリモコンで、ご希望の運転状態にセットしてください。
この時にインターフェイスが運転状態を記憶します。(運転から10秒間は元電源を切らないでください。)
- ②以降エアコンの元電源ONで、記憶された運転状態で運転を始めます。
- ③長期間で使用していなかった時にはもう一度リモコンでご希望の運転状態にセットすることをおすすめします。

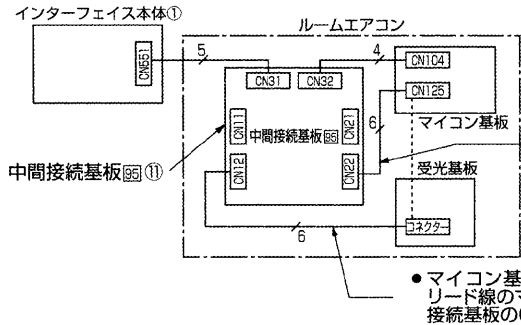
元電源発停で、2台以上のエアコンを起動させる時には、同時起動とにならないようなシステムとしてください。
(ラッシュ電流を避けるため、順次起動としてください。)



3-2 接続要領 (グループBの場合)

1 インターフェイスとルームエアコンの接続方法

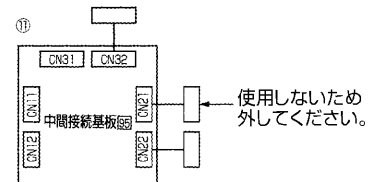
- インターフェイス基板とルームエアコンの室内マイコン基板とを接続します。
接続する機種によって接続方法が異なりますので適用機種一覧表をご覧ください。
- インターフェイスから出ている接続線を延長または切断しますと、動作不良になります。また接続線を電源電線やアース線とまとめたりしないで、できるだけ離してください。
- 中間接続基板に接続されているリード線で、不要なリード線は外してください。
- 中間接続基板へのリード線の抜き差しを指で押さえて行ってください。



●中間接続基板のCN22に接続されているリード線をマイコン基板のCN125に接続してください。

●マイコン基板と受光基板を接続するリード線のマイコン基板側を外して中間接続基板のCN12に接続してください。

中間接続基板⑪の出荷状態



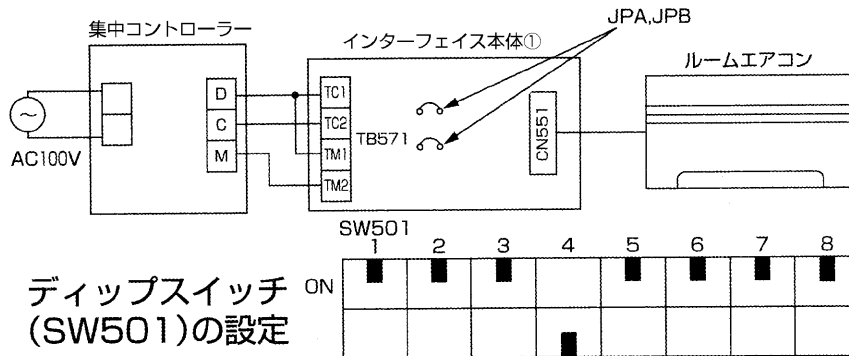
2 インターフェイスと各システムの接続方法

(各システムの詳細は各システム説明書をご覧ください。)

- 各システムとの接続線の太さに合わせ、インターフェイス本体①のコードクランプを付属部品コードクランプ②④⑤に付替えてください。
- インターフェイスのディップスイッチ (SW501) は正しく設定されないと正常な動作をしません。
- インターフェイスのディップスイッチ (SW501) の設定は電源を入れる前に行ってください。

集中コントロール (集中コントローラーへ接続する場合)

「1-⑤」のインターフェイス基板で説明されているジャンパーJPA、JPBを切断してください。

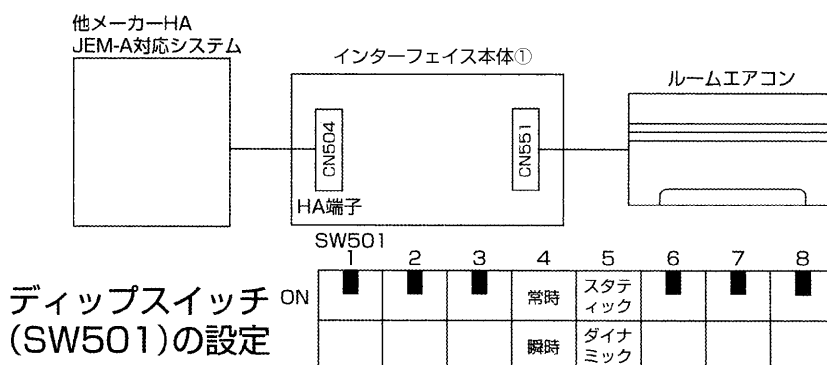


JEM-A対応 (他メーカーのHA、JEM-A対応システムと接続する場合)

ディップスイッチ (SW501) の4番の設定は接続するシステムの入力方式により異なります。

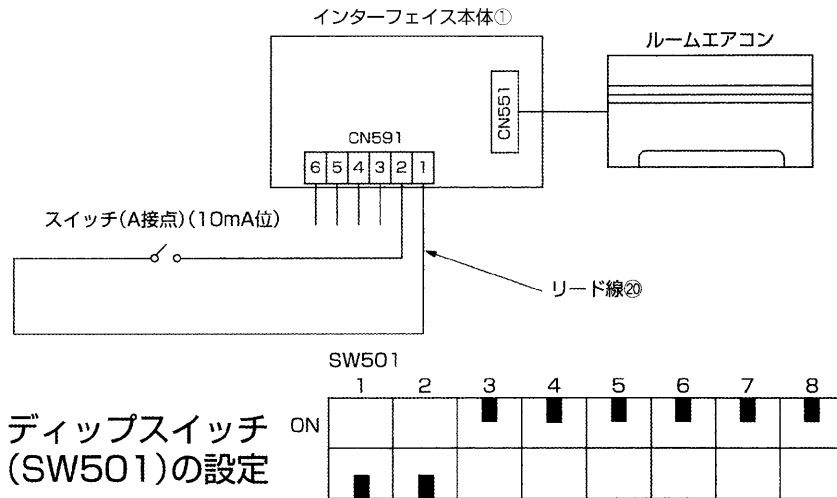
入力方式が常時接点の場合ON、瞬時接点の場合OFFに設定してください。

ディップスイッチ (SW501) の5番の設定は接続するシステムの出力方式により異なります。出力方式がスタティック方式 (┌─┐) の場合ON、ダイナミック方式 (┌─┐┌─┐) の場合OFFに設定してください。



遠方コントロール（接点によるルームエアコンの運転/停止）

- 付属部品リード線⑳をCN591に接続してください。
- 電灯スイッチのような入/切の切換スイッチを用いてエアコンの運転・停止を行うことができます。スイッチを含めた遠隔操作部は現地にて調達・配線してください。



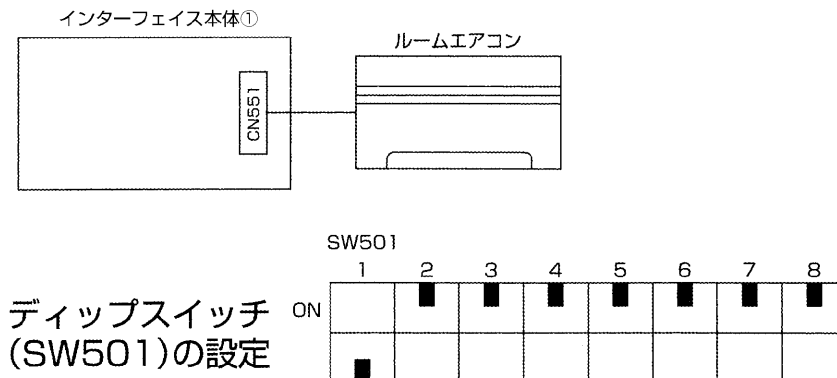
元電源発停

エアコンの元電源ONでエアコンの元電源OFF前の状態になり、元電源OFFでエアコンが停止します。

●運転モード

- ①初めてお使いになる時は、一度お手元のリモコンで、ご希望の運転状態にセットしてください。
この時にインターフェイスが運転状態を記憶します。（運転から10秒間は元電源を切らないでください。）
- ②以降エアコンの元電源ONで、記憶された運転状態で運転を始めます。
- ③長期間で使用していなかった時にはもう一度リモコンでご希望の運転状態にセットすることをおすすめします。

注意 元電源発停で、2台以上のエアコンを起動させる時には、同時起動とにならないようなシステムとしてください。（ラッシュ電流を避けるため、順次起動としてください。）



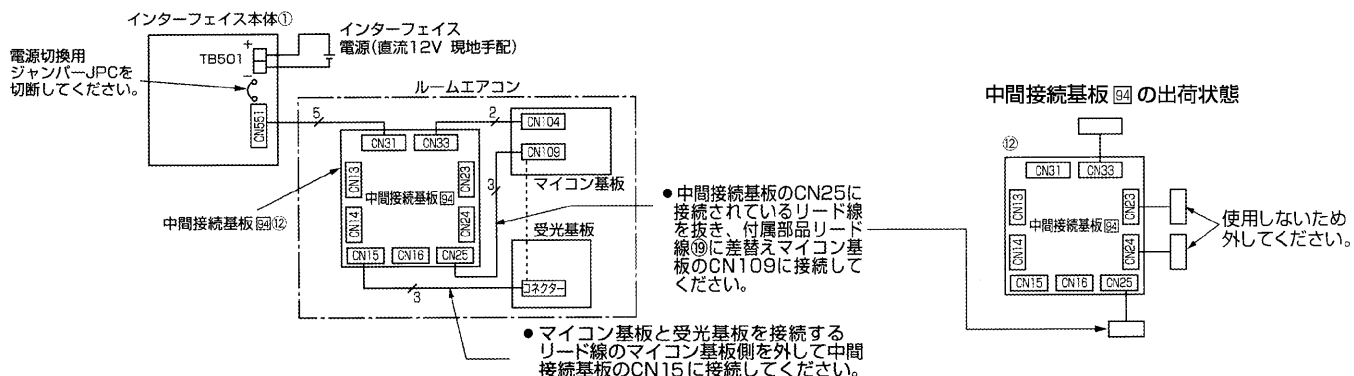
グループC-1,C-2,D,E,Fの接続要領は裏面にあります。

3-3 接続要領 (グループC-1,2の場合)

1 インターフェイスとルームエアコンの接続方法

- インターフェイス基板とルームエアコンの室内マイコン基板とを接続します。
接続する機種によって接続方法が異なりますので適用機種一覧表をご覧ください。
- インターフェイスから出ている接続線を延長または切断しますと、動作不良になります。
また接続線を電源電線やアース線とまとめたりしないで、できるだけ離してください。
- 中間接続基板に接続されているリード線で、不要なリード線は外してください。
- 中間接続基板へのリード線の抜き差しを指で押さえて行ってください。

注)このグループの接続では、電源(直流12V)が必要です。



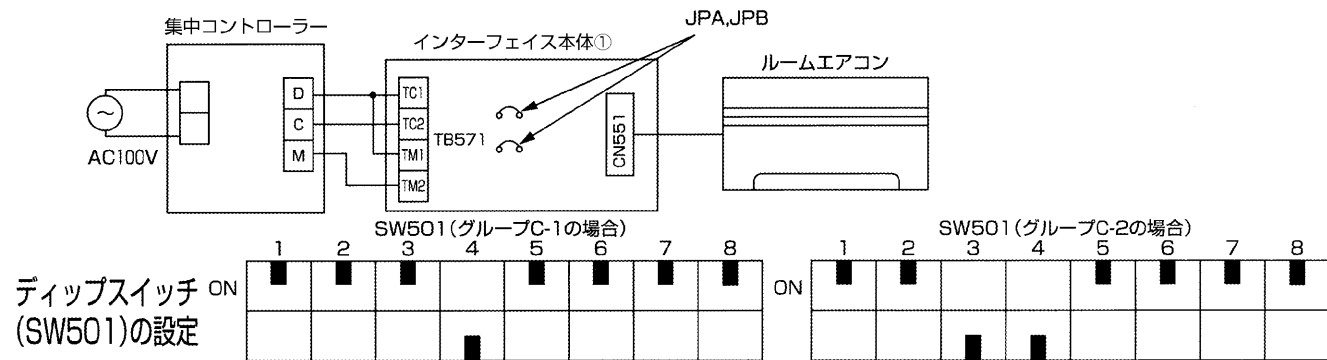
2 インターフェイスと各システムの接続方法

(各システムの詳細は各システム説明書をご覧ください。)

- 各システムとの接続線の太さに合わせ、インターフェイス本体①のコードクランプを付属部品コードクランプ②④⑤に付替えてください。
- インターフェイスのディップスイッチ (SW501) は正しく設定されないと正常な動作をしません。
- インターフェイスのディップスイッチ (SW501) の設定は電源を入れる前に行ってください。

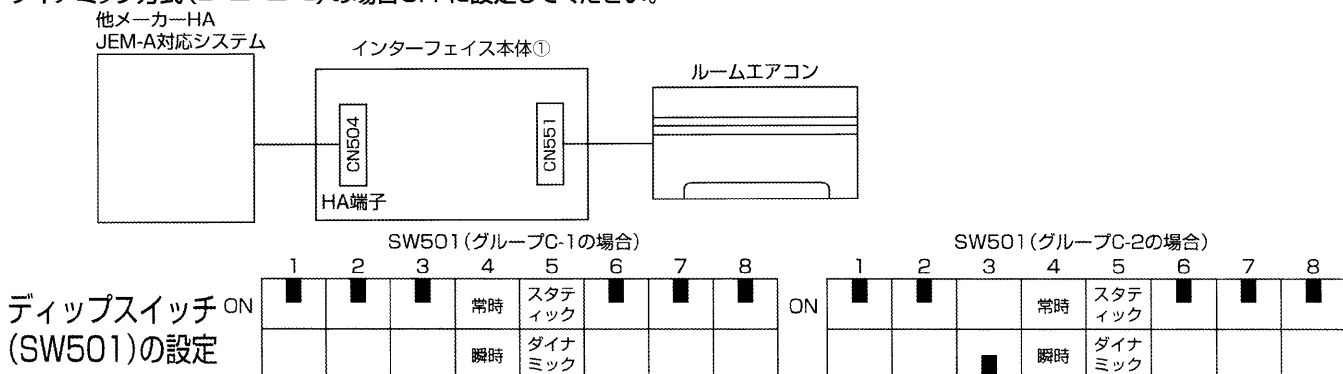
集中コントロール (集中コントローラーへ接続する場合)

「1-⑤のインターフェイス基板」で説明されているジャンパーJPA、JPBを切断してください。



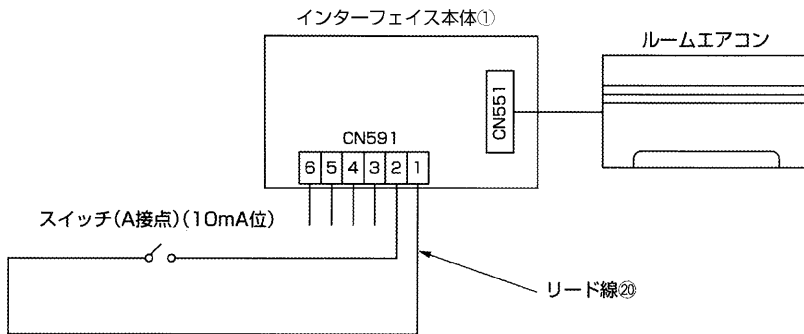
JEM-A対応 (他メーカーのHA、JEM-A対応システムと接続する場合)

ディップスイッチ (SW501) の4番の設定は接続するシステムの入力方式により異なります。
入力方式が常時接点の場合ON、瞬時接点の場合OFFに設定してください。
ディップスイッチ (SW501) の5番の設定は接続するシステムの出力方式により異なります。出力方式がスタティック方式(—)の場合ON、ダイナミック方式(—)の場合OFFに設定してください。



遠方コントロール（接点によるルームエアコンの運転/停止）

- 付属部品リード線②をCN591に接続してください。
- 電灯スイッチのような入/切の切換スイッチを用いてエアコンの運転・停止を行うことができます。スイッチを含めた遠隔操作部は現地に調達・配線してください。



元電源発停

エアコンの元電源ONでエアコンの元電源OFF前の状態になり、元電源OFFでエアコンが停止します。

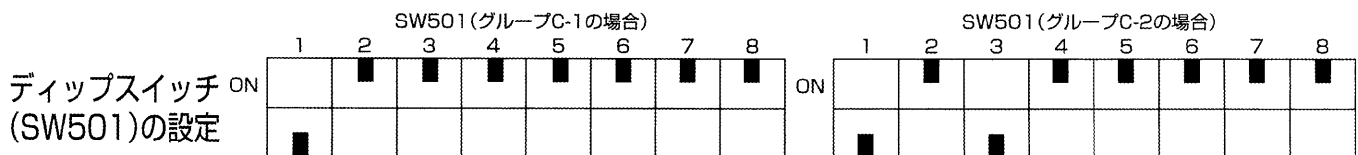
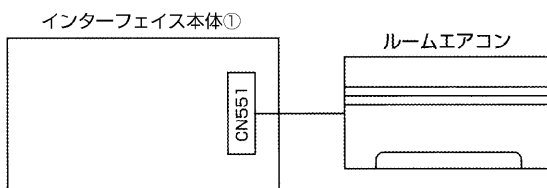
電源を入れる際は必ずエアコンの電源を先に入れてください。

電源を切る際は必ずインターフェイスの電源を先に切ってください。

●運転モード

- ①初めてお使いになる時は、一度お手元のリモコンで、ご希望の運転状態にセットしてください。
この時にインターフェイスが運転状態を記憶します。(運転から10秒間は元電源を切らないでください。)
- ②以降エアコンの元電源ONで、記憶された運転状態で運転を始めます。
- ③長期間で使用していなかった時にはもう一度リモコンでご希望の運転状態にセットすることをおすすめします。

ご注意 元電源発停で、2台以上のエアコンを起動させる時には、同時起動とならないようなシステムとしてください。
(ラッシュ電流を避けるため、順次起動としてください。)

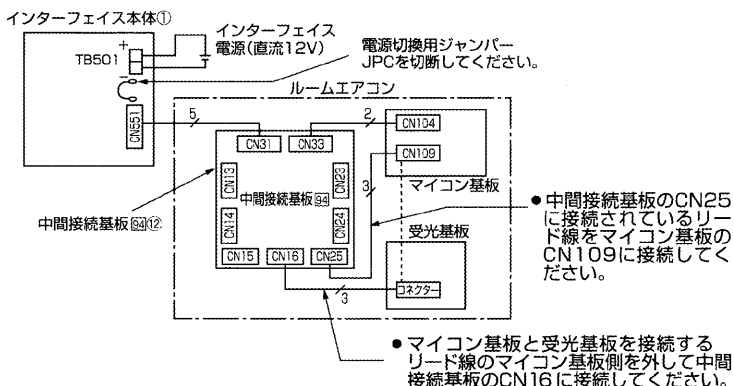


3-4 接続要領 (グループDの場合)

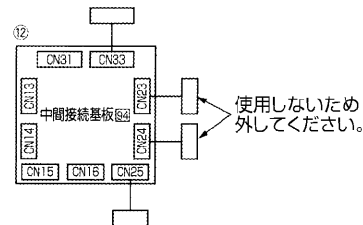
1 インターフェイスとルームエアコンの接続方法

- インターフェイス基板とルームエアコンの室内マイコン基板とを接続します。
接続する機種によって接続方法が異なりますので適用機種一覧表をご覧ください。
- インターフェイスから出ている接続線を延長または切断しますと、動作不良になります。
また接続線を電源電線やアース線とまとめたりしないで、できるだけ離してください。
- 中間接続基板に接続されているリード線で、不要なリード線は外してください。
- 中間接続基板へのリード線の抜き差しを指で押さえて行ってください。

注) このグループの接続では、電源(直流12V)が必要です。



中間接続基板④の出荷状態



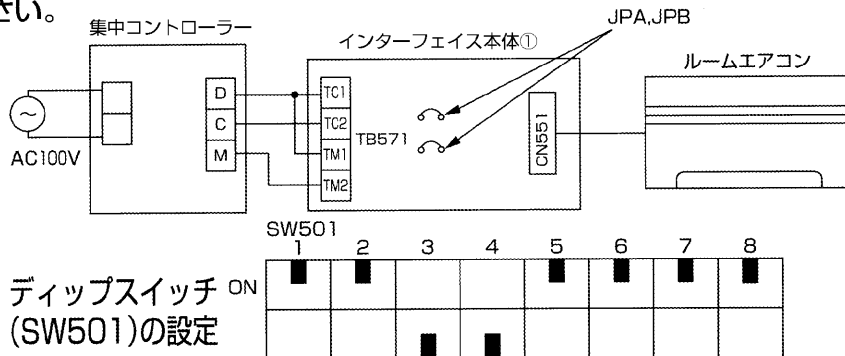
2 インターフェイスと各システムの接続方法

(各システムの詳細は各システム説明書をご覧ください。)

- 各システムとの接続線の太さに合わせ、インターフェイス本体①のコードクランプを付属部品コードクランプ②④⑤に付替えてください。
- インターフェイスのディップスイッチ(SW501)は正しく設定されないと正常な動作をしません。
- インターフェイスのディップスイッチ(SW501)の設定は電源を入れる前に行ってください。

集中コントロール (集中コントローラーへ接続する場合)

「1-⑤」のインターフェイス基板で説明されているジャンパーJPA、JPBを切断してください。



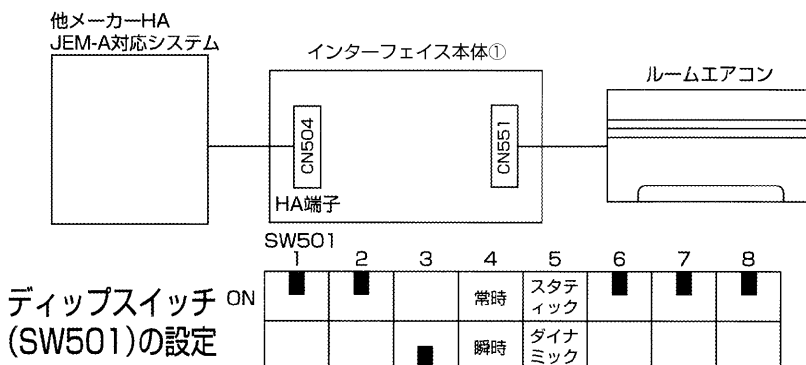
注) マルチ室外機に接続する場合は、集中コントローラーには接続できません。

JEM-A対応 (他メーカーのHA、JEM-A対応システムと接続する場合)

ディップスイッチ(SW501)の4番の設定は接続するシステムの入力方式により異なります。

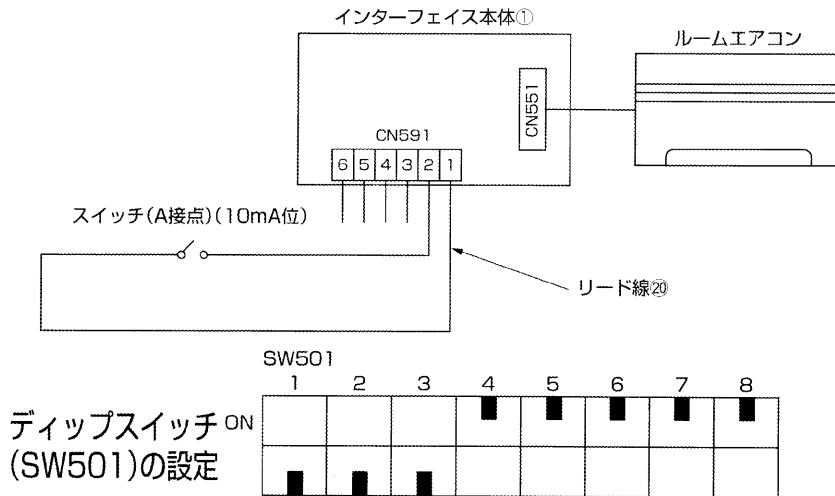
入力方式が常時接点の場合ON、瞬時接点の場合OFFに設定してください。

ディップスイッチ(SW501)の5番の設定は接続するシステムの出力方式により異なります。出力方式がスタティック方式(—)の場合ON、ダイナミック方式(—)の場合OFFに設定してください。



遠方コントロール（接点によるルームエアコンの運転/停止）

- 付属部品リード線⑳をCN591に接続してください。
- 電灯スイッチのような入/切の切換スイッチを用いてエアコンの運転・停止を行うことができます。スイッチを含めた遠隔操作部は現地にて調達・配線してください。



元電源発停

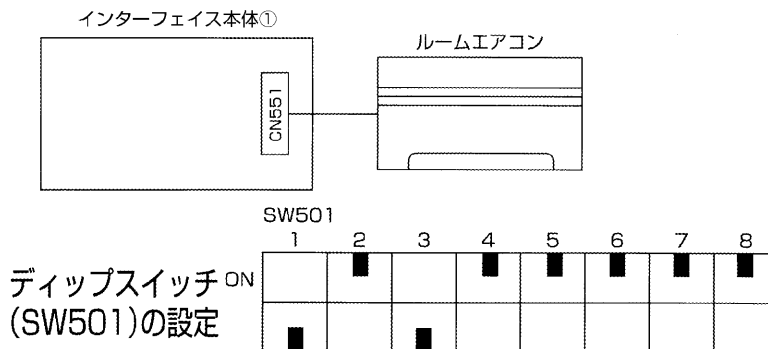
エアコンの元電源ONでエアコンの元電源OFF前の状態になり、元電源OFFでエアコンが停止します。電源を入れる際は必ずエアコンの電源を先に入れてください。電源を切る際は必ずインターフェイスの電源を先に切ってください。

注) マルチ室外機に接続する場合は、元電源発停はできません。

● 運転モード

- ① 初めてお使いになる時は、一度お手元のリモコンで、ご希望の運転状態にセットしてください。この時にインターフェイスが運転状態を記憶します。(運転から10秒間は元電源を切らないでください。)
- ② 以降エアコンの元電源ONで、記憶された運転状態で運転を始めます。
- ③ 長期間ご使用していなかった時にはもう一度リモコンでご希望の運転状態にセットすることをおすすめします。

注意) 元電源発停で、2台以上のエアコンを起動させる時には、同時起動とならないようなシステムとしてください。(ラッシュ電流を避けるため、順次起動としてください。)

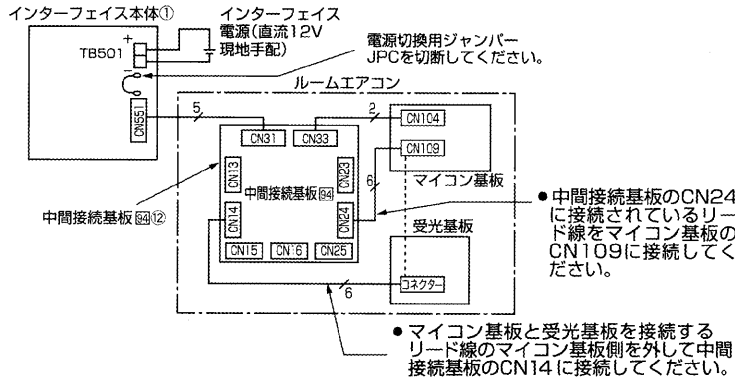


3-5 接続要領 (グループEの場合)

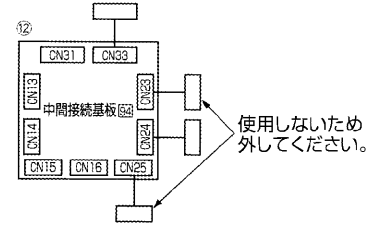
1 インターフェイスとルームエアコンの接続方法

- インターフェイス基板とルームエアコンの室内マイコン基板とを接続します。
接続する機種によって接続方法が異なりますので適用機種一覧表をご覧ください。
- インターフェイスから出ている接続線を延長または切断しますと、動作不良になります。
また接続線を電源電線やアース線とまとめたりしないで、できるだけ離してください。
- 中間接続基板に接続されているリード線で、不要なリード線は外してください。
- 中間接続基板へのリード線の抜き差しを指で押さえて行ってください。

注)このグループの接続では、電源(直流12V)が必要です。



中間接続基板 ⑫ の出荷状態



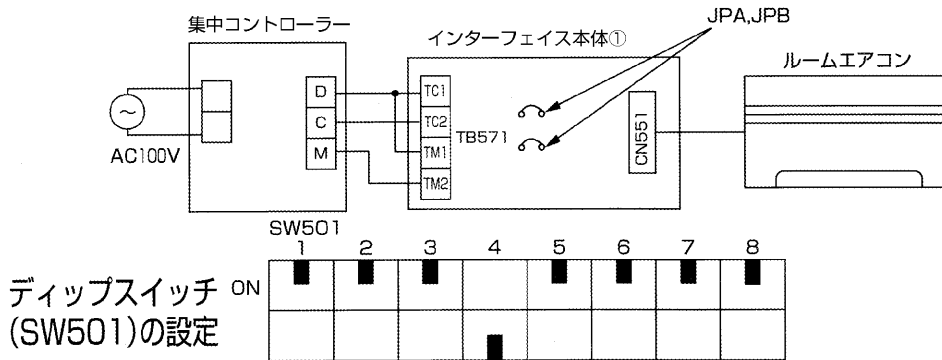
2 インターフェイスと各システムの接続方法

(各システムの詳細は各システム説明書をご覧ください。)

- 各システムとの接続線の太さに合わせ、インターフェイス本体①のコードクランプを付属部品コードクランプ②④⑤に付替えてください。
- インターフェイスのディップスイッチ (SW501) は正しく設定されないと正常な動作をしません。
- インターフェイスのディップスイッチ (SW501) の設定は電源を入れる前に行ってください。

集中コントロール (集中コントローラーへ接続する場合)

「1-⑤のインターフェイス基板」で説明されているジャンパーJPA、JPBを切断してください。

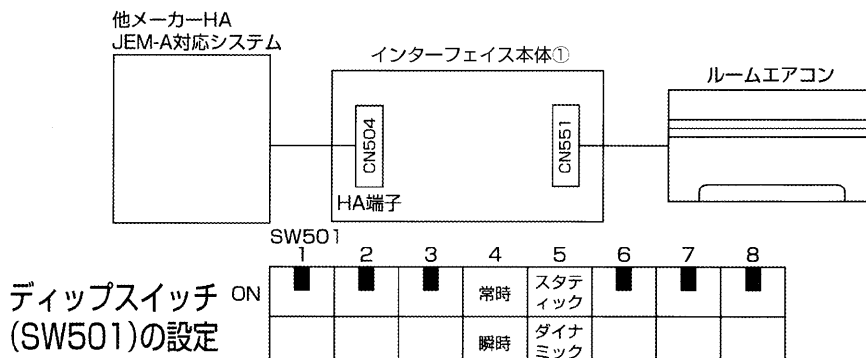


JEM-A対応 (他メーカーのHA、JEM-A対応システムと接続する場合)

ディップスイッチ (SW501) の4番の設定は接続するシステムの入力方式により異なります。

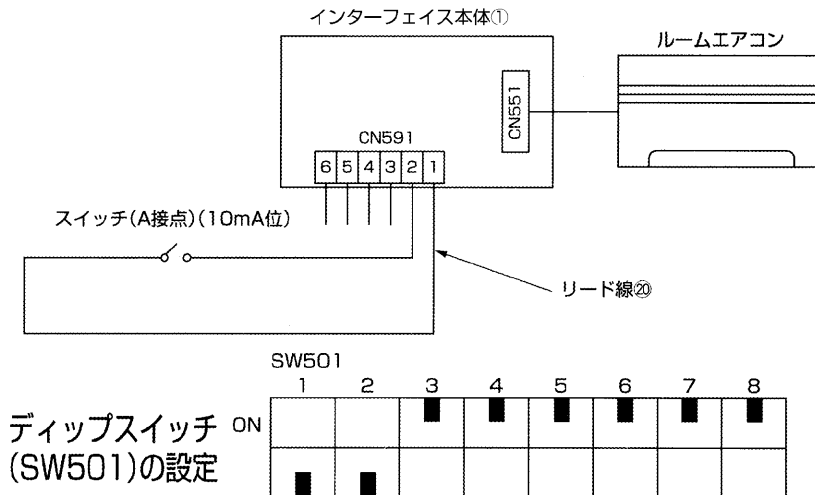
入力方式が常時接点の場合ON、瞬時接点の場合OFFに設定してください。

ディップスイッチ (SW501) の5番の設定は接続するシステムの出力方式により異なります。出力方式がスタティック方式(—)の場合ON、ダイナミック方式(—)の場合OFFに設定してください。



遠方コントロール（接点によるルームエアコンの運転/停止）

- 付属部品リード線②をCN591に接続してください。
- 電灯スイッチのような入/切の切換スイッチを用いてエアコンの運転・停止を行うことができます。スイッチを含めた遠隔操作部は現地にて調達・配線してください。



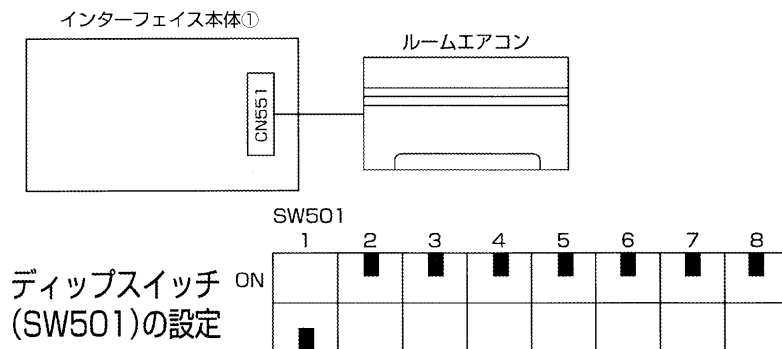
元電源発停

エアコンの元電源ONでエアコンの元電源OFF前の状態になり、元電源OFFでエアコンが停止します。
電源を入れる際は必ずエアコンの電源を先に入れてください。
電源を切る際は必ずインターフェイスの電源を先に切ってください。

●運転モード

- ①初めてお使いになる時は、一度お手元のリモコンで、ご希望の運転状態にセットしてください。
この時にインターフェイスが運転状態を記憶します。(運転から10秒間は元電源を切らないでください。)
- ②以降エアコンの元電源ONで、記憶された運転状態で運転を始めます。
- ③長期間ご使用していなかった時にはもう一度リモコンでご希望の運転状態にセットすることをおすすめします。

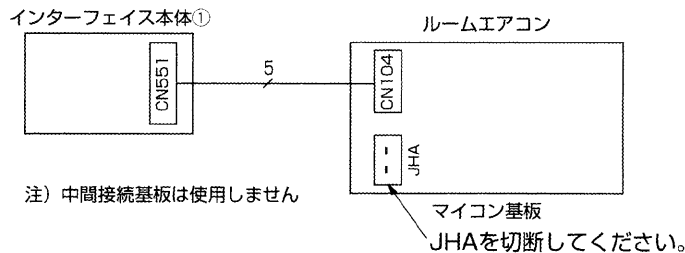
注意 元電源発停で、2台以上のエアコンを起動させる時には、同時起動とならないようなシステムとしてください。
(ラッシュ電流を避けるため、順次起動としてください。)



3-6 接続要領 (グループFの場合)

1 インターフェイスとルームエアコンの接続方法

- インターフェイス基板とルームエアコンの室内マイコン基板とを接続します。
接続する機種によって接続方法が異なりますので適用機種一覧表をご覧ください。
- インターフェイスから出ている接続線を延長または切断しますと、動作不良になります。
また接続線を電源電線やアース線とまとめたりしないで、できるだけ離してください。
- ルームエアコンの室内マイコン基板のジャンパー線JHAを切断してください。



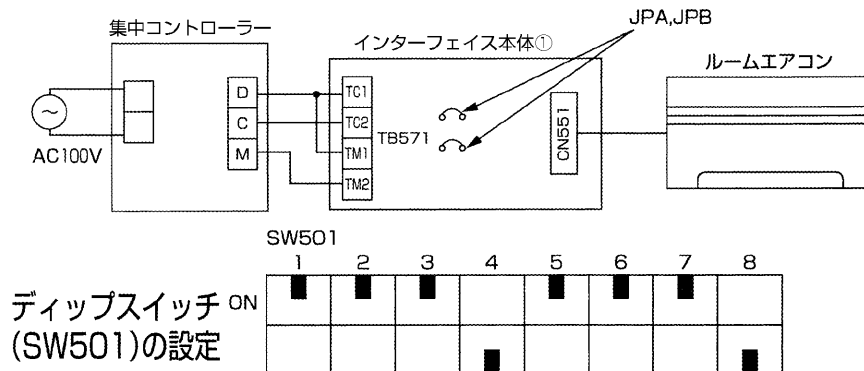
2 インターフェイスと各システムの接続方法

(各システムの詳細は各システム説明書をご覧ください。)

- 各システムとの接続線の太さに合わせ、インターフェイス本体①のコードクランプを付属部品コードクランプ②④⑤に付替えてください。
- インターフェイスのディップスイッチ (SW501) は正しく設定されないと正常な動作をしません。
- インターフェイスのディップスイッチ (SW501) の設定は電源を入れる前に行ってください。

集中コントロール (集中コントローラーへ接続する場合)

「1-⑤のインターフェイス基板」で説明されているジャンパーJPA、JPBを切断してください。

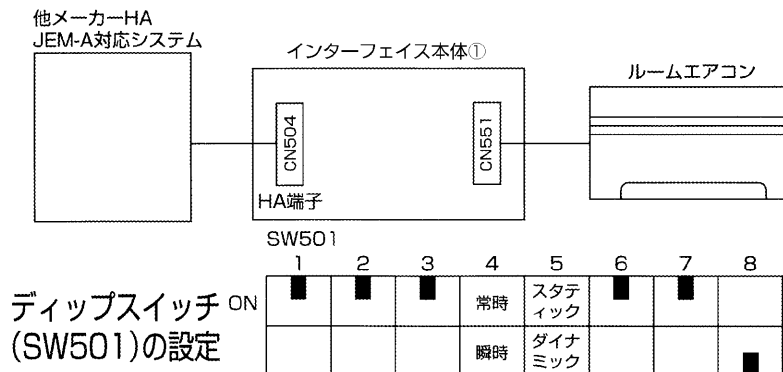


JEM-A対応 (他メーカーのHA、JEM-A対応システムと接続する場合)

ディップスイッチ (SW501) の4番の設定は接続するシステムの入力方式により異なります。

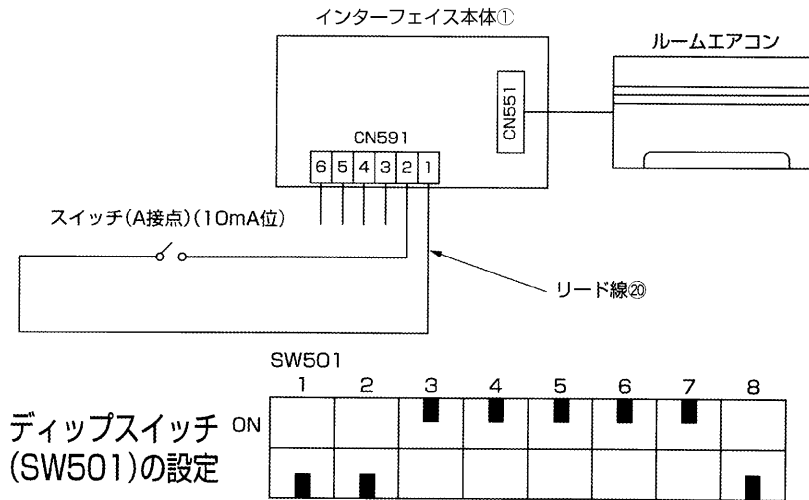
入力方式が常時接点の場合ON、瞬時接点の場合OFFに設定してください。

ディップスイッチ (SW501) の5番の設定は接続するシステムの出力方式により異なります。出力方式がスタティック方式 (—) の場合ON、ダイナミック方式 (—) の場合OFFに設定してください。



遠方コントロール（接点によるルームエアコンの運転/停止）

- 付属部品リード線②をCN591に接続してください。
- 電灯スイッチのような入/切の切換スイッチを用いてエアコンの運転・停止を行うことができます。スイッチを含めた遠隔操作部は現地にて調達・配線してください。



元電源発停

エアコンの元電源ONでエアコンの元電源OFF前の状態になり、元電源OFFでエアコンが停止します。

● 運転モード

- ① 初めてお使いになる時は、一度お手元のリモコンで、ご希望の運転状態にセットしてください。
この時にインターフェイスが運転状態を記憶します。（運転から10秒間は元電源を切らないでください。）
- ② 以降エアコンの元電源ONで、記憶された運転状態で運転を始めます。
- ③ 長期間で使用していなかった時にはもう一度リモコンでご希望の運転状態にセットすることをおすすめします。

注意 元電源発停で、2台以上のエアコンを起動させる時には、同時起動とにならないようなシステムとしてください。（ラッシュ電流を避けるため、順次起動としてください。）

